

平成16年度 国立大学法人等職員採用 六地区合同図書系二次専門試験

多枝選択式試験問題

注 意 事 項

1. 問題は50題(31ページ)で、解答時間は正味3時間です。
2. 解答用紙の記入について
 - (ア) 解答は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるよう訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 解答用紙には、試験地、整理番号、氏名及び解答以外は記入しないでください。
3. この問題集及び解答用紙は、持ち帰ることができません。なお、試験時間中に、この問題集を、切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に試験地等を記入してください。
なお、この問題集の余白は下書きに使用して差し支えありません。

試 験 地	整 理 番 号	氏 名
-------	---------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

【No. 1】 メディアの変遷を記した次の文章のうち、最も適切なものを選びなさい。

- 1．ナポレオンのエジプト遠征の際に発見された石碑にロゼッタストーンがある。それにはヒエログリフを含む3種類の文字で、王の事跡が刻まれていた。石碑に記された文字とその内容を解読したのは若きシャンポリオンだった。
- 2．紙は中国後漢の曇徴が2世紀初頭に完成させた。それから約500年の後に、紙はヨーロッパ中央部に伝播し、同時期にグーテンベルクが発明した活字印刷に利用されるようになると、欧州全域に急速に広まった。
- 3．エジプトの主たる書写材料であったパピルスは当初、チグリス川流域の葦を材料としていたが、アレクサンドリア図書館が建造された紀元前7世紀頃に葦の栽培法がエジプトに伝えられると、ナイル川流域の生産量がチグリス川流域の生産量を上回った。
- 4．皮紙と呼ばれる獣皮をなめした書写材はアナトリアのペルガモンで盛んに用いられた。パピルスと同じく巻物が中心であり、携帯や格納には粘土板よりは便利だが、折り曲げに弱くかさばり冊子体の軽便さはなかった。このためにヨーロッパ中世では、印刷術の発展をまたずに紙に替わられた。
- 5．アッシュルバニパルの王宮図書館は世界史上最初の図書館として著名である。そこに残された粘土板は5千枚程度であるが、楔形文字の一亜種であるヒエログリフによって記され、近隣の古代エジプト神話まで大量に含んだ膨大なものである。そのほとんどは20世紀初頭に解読された。

【No. 2】 次の文章は、日本上代における図書館類似の施設を説明したものである。最も適切なものを選びなさい。

- 1．日本書紀によれば、近江朝大友皇子の曾孫で、奈良時代初期の文人貴族であった淡海三船は、現在の奈良県奈良市に私設図書館の江家文庫を作ったとされる。これは我が国における公開図書館の一つであった。
- 2．続日本紀によれば、物部氏の流れをくむ齋部広成は平安時代後期の高級貴族で、彼の私設文庫は我が国最初の公開図書館として、物部氏の本拠地であった現在の奈良県天理市付近にあったと伝えられている。
- 3．日本書紀によれば、文倉と呼ばれた文庫には儒教を中心とする内典が集められ、一条兼良が奈良時代初期に、現在の奈良県奈良市に作ったと伝えられている。
- 4．菅家文草によれば、平安時代の太政大臣菅原道真是、紅葉山文庫を太宰府に設立し、地方下級役人の子弟に閲覧を許可し、彼らの中央登用をはかった。
- 5．続日本紀によれば、大納言石上宅嗣は奈良時代後期の高級貴族で、私邸の一部に書庫を設け、芸亭と名付け文人達に閲覧を許したとある。これは我が国最初の公開図書館と言ってよい。

【No. 3】 国立情報学研究所(NII)が行っている事業に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 . NACSIS-IR は、国内外の学協会から無償供与されたデータベースを、無料かつ匿名で利用できる研究者支援システムである。
- 2 . NACSIS-ELS は、国内の大学等が登録している研究紀要論文の情報が検索でき、かつ論文本文へのリンク情報も登録されているサービスである。
- 3 . NACSIS-CAT で構築された総合目録データベースは、NACSIS-OPAC で検索できる。これは全国の大学図書館等で所蔵している図書雑誌の最新情報が専用回線やインターネットで検索できるサービスである。
- 4 . NII では日本科学技術協会と協力して、遡及入力や研修事業に力を入れている。この協力体制下では、初心者への目録システムや中堅職員に対する情報ステップアップ講習だけでなく、図書の修理補修に関する研修事業も開始されている。
- 5 . NACSIS-ILL は、NACSIS-CAT で構築された総合目録データベースを活用して、図書館間における資料の相互貸借や文献複写の連絡業務を支援するシステムである。

【No. 4】 国立国会図書館関西館（以下、「関西館」という）は平成 14 年秋に開館した。関西館について説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 . 関西館は京都府と奈良県の境にある関西文化学術研究都市内に位置し、電子図書館システムの開発、運営、調査に取り組んでいる。その一方で来館者に対しても、入館手続きをすれば館内資料の閲覧や電子出版物の利用などの館内利用サービスも提供している。
- 2 . 関西館は京都府と奈良県の境にある関西文化学術研究都市内に位置し、すべての所蔵資料について、インターネットを通じての全文閲覧を可能にしている。18 歳以上の利用者であれば、個人貸出にも応じている。
- 3 . 関西館は京都府と奈良県の境にある関西文化学術研究都市内に位置し、多くの機能を東京本館と分担している。このうち図書館員研修や公共図書館への対応は東京本館が受け持ち、関西館の行う事業は電子図書館事業に限定されている。
- 4 . 関西館は関西国際空港からアクセスの便のよい大阪府南部に位置し、国内外の古典籍を収集し、その電子化を行うとともに、電子化した資料の原本を館内で保存することに積極的に取り組んでいる。これらの資料はインターネットからの閲覧のみが許可されており、館内閲覧は認められていない。
- 5 . 関西館は関西国際空港からアクセスの便のよい大阪府南部に位置し、東アジア、東南アジア、中央アジア全域にわたるアジアの拠点図書館として機能している。ただし、アラビア語、ペルシャ語、トルコ語文献を含む中東の資料は収集対象としていない。

【No. 5】 次の各図書館関係機関の説明で、最も適切なものを選びなさい。

1. 国際標準化機構 (ISO) は国際規格を制定する機関として活動を行い、その下部機関である IFLA が「情報とドキュメンテーション」という名称のもとに図書館情報学関連規格を作成している。
2. OCLC は 1967 年に Ohio College Library Center として発足し、その後発展を遂げ、今日では WorldCat を活用した目録作成サービス、FirstSearch などのレファレンスと情報検索サービス、ILL サービスなど、北米を代表する書誌ユーティリティとして活動を行っている。
3. 国立情報学研究所は 1998 年に図書館情報大学の一部と学術情報センターが統合し、独立行政法人として設置された。ここでは情報分野の総合的研究を進めると共に学術情報基盤の開発整備、目録所在情報サービス、電子図書館サービスなど学術情報に関する幅広い事業を行っている。
4. 研究図書館協会 (Association of Research Libraries: ARL) は北米、ヨーロッパの 120 余りの大規模大学図書館および公共図書館の連合体である。ここでは学術コミュニケーションにおける研究図書館のあり方に関わる蔵書構築、目録作成、知的財産権等について幅広く活動している。日本でも 10 余りの主要大学の図書館が加盟している。
5. 米国国立医学図書館 (National Library of Medicine: NLM) は米国教育省の図書館として創設され、Excerpta Medica の編集刊行、MEDLINE、EMBASE の提供などを行っているが、サービス対象は米国国内の医療関係者に限られている。

【No. 6】 我が国の現行著作権法に照らし、大学図書館が著作権者の許諾や個別の契約によらず行えることとして、最も適切なものを選びなさい。

1. 図書館内に設置されたセルフコピー機で、利用者自身が申込書によらず所蔵資料を複写する。
2. 絶版雑誌の欠号部分で古書店でも入手できないものについて、複写を依頼してきた大学図書館に対して、欠号部分を全ページ複写して提供する。
3. 視覚障害をもつ利用者からの依頼に応じて、図書館員が所蔵資料をテープに録音して館内で利用させる。
4. 著作権の期限は切れていないが劣化が著しく CD-ROM 等でも市販されていない資料に対して、利用者からの貸出の要望が強いため、電子化しネットワークで図書館内、および図書館外から利用できるようにする。
5. 映画関係の図書の付録として映像を含んだ DVD が添付されていた。図書の理解を助けるために重要な資料であるので、添付したまま貸出すようにする。

【No. 7】 図書館の利用に障害のある人びとへのさまざまなサービスについて述べた文章として、最も適切なものを選びなさい。

1. 点字図書の作成は点字図書館にのみ認められているため、大学図書館で点字図書を提供するためには、点字図書館に対してあらかじめ作成または貸与を依頼しておく必要がある。
2. 対面朗読サービスとは、利用者の希望する小説や詩を、読み手ができるだけ中断することなく、最初から通して音読するサービスを指すので、学術図書には不向きである。
3. 来館が困難または不可能なため、従来図書館サービスを受けられなかった人々に対して、それらの人々の居所へ図書館職員が出かけて、いわばサービスの出前を行うことをアウトリーチという。
4. DAISY はアナログ録音図書の国際標準規格であり、専用の機器を使用することにより、一般のカセットテープに通常の約5倍の録音が可能なることから、我が国でも急速に普及している。
5. 国立国会図書館は『点字図書・録音図書・録画図書全国総合目録』をホームページ上で公開し、全国の図書館の所蔵資料について、個人貸出の受け付け窓口になっている。

【No. 8】 公貸権（公共貸与権：Public Lending Right）に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

1. 貸本屋業の多い中国では、世界でもいち早く著作権法の中に公貸権が盛り込まれる形で制定され、著作者を保護している。
2. 日本では、公共図書館と日本ミステリー作家連盟が協力しあって、公貸権の実現を文化庁に要望している。
3. 国家が基金を設立しているイギリスでは、公共図書館における貸出実績を基準として、著作者に補償金を支払っている。
4. 日本の著作権法では、図書の貸与に関して、著作者が「貸与権」を専有すると明記されているため、公共図書館におけるベストセラーの貸出については、地方自治体から著作者に対して補償金が支払われている。
5. ヨーロッパ諸国ではイギリスがもっとも早く公貸権を法制化したが、それに追従する国は少なく、1992年のEU指令を受けてようやく北欧諸国が法制化の検討を開始した。

【No. 9】 大学図書館間の文献複写サービスについての文章を完成させる言葉の組み合わせで、最も適切なものを選びなさい。

複写機器の発達は、大学図書館においても文献の複製を容易かつ安価なものにした。

1970年代終わり頃より国公立大学図書館間では の必要性が認識され、 の有効利用を図るためのシステムが求められ始めた。

複写対象の資料は雑誌が圧倒的に多い。大学図書館職員は、利用者から文献複写依頼を受け付けると、総合目録を利用して所蔵先を確認し、複写依頼先を決定することが重要な業務であった。

1990年代初め頃までよく利用されていた は、学術情報センターの に引き継がれていく。また、現在ではこのデータベース検索システムと結合して、ILL の申込み、受付、発送、支払い等あらゆるコミュニケーションがオンラインで交換される ILL サブシステムが運用されている。

	A	B	C	D
1.	資料提供	基本図書	新収洋書総合目録	ユニオンカタログ
2.	相互協力	学術情報資源	学術雑誌総合目録	総合目録データベース
3.	分担収集	現物貸出	雑誌新聞総カタログ	ILL サービス
4.	共通閲覧証	予約制度	国書総目録	BLDSC
5.	相互協力	基本図書	日本書籍総目録	ILL サービス

【No. 10】 図書館での直接的な情報サービスについて述べた次の文章のうち、最も適切なものを選びなさい。

1. 狭義のレファレンス・サービスとは質問回答サービスを指すと考えてよい。これには即答質問（回答）指導質問（回答）インタビュー質問（回答）などがある。大学図書館において、こういったサービスで用いるレファレンス・ツールとしては、ネットワーク機器の利用を必須とするインターネット情報よりも、信憑性が高く特別な機器類を必要としない印刷物形態のツールの方が優れている。
2. 利用指導は、調査を伴わないので情報サービスとは言えない。一般的には、利用者が求める資料・情報の購入方法や、OPAC や索引のような検索ツールの使い方を教えるのに止まる。これらは適切なガイドブックの提供で解決するので、人的な援助も最小である。図書館では過去に普及していたサービスと言える。
3. 文献リスト作成は、現在ではすぐれた書誌が出版社から多数出ており、またインターネットの普及により利用者が簡便にリストを作成できるようになったので、現代の図書館の情報サービスとしてはまれにしか行われていない。またこういったサービスは、主題の専門家でないと役に立つものがないので、司書の仕事としては特殊なものである。
4. カレント・アウェアネス・サービスは調査や研究を目的とした利用者のためだけでなく、ぼんやりとした情報把握を必要とする一般的な利用者にとっても、有効なサービスである。前者のためには、SDI サービスが情報の電子化とネットワークの発達により効果的に行えるようになった。後者のためには、新着資料を目立つ箇所に別置したり、新着図書案内や貸出ランキング情報などを提示するサービスが利用者に喜ばれている。

5. レフェラル・サービスは、館内で処理できないような問題について、有料で図書館外の専門家や専門機関を利用者に紹介したり、あるいは司書が仲介して相手先に問い合わせるサービスである。図書館外部に依頼をするほどの複雑多岐な問題が多いことから、公共図書館での事例は少なく、大学図書館での研究者や大学院生などによる利用が大部分である。

【No. 11】 主にインターネット資源を用いた大学図書館でのレファレンス・サービスにおいて、質問者が「ある事項に関する概略知識と、それに関する英語専門図書の入手」を求めてきた。下記の文章を完成させる言葉の組合せで、最も適切なものを選びなさい。

レファレンス・サービスでは、まず質問者へのインタビューが大切です。そこで、いろいろなことが分かってきます。質問内容を明確にするために、司書と質問者とが相談の上で個性的な用語をいくつか引き出せばよいでしょう。

次に、その用語を用いて サービスで確認してみます。その結果の中にもし専門分野のポータルサイトがあれば、信憑性の高い情報を得る可能性が高まります。さらに主題を階層的に用いた サービスも併用すればよいでしょう。概略的知識程度であれば、多くのことはこういったインターネット・サービスで解答が得られます。しかし、特に人文科学や社会科学では、さらに過去の蓄積を丁寧にしらべるために、印刷物によるツール類を使う必要があります。

次に、求める専門図書自体をどうやって入手するかです。まず実行すべきは自館のOPACを使うことです。これで適当な図書が見つからないときにはじめて、質問者が大学図書館で英語専門図書を求めているのですから、 を使うのが自然な流れです。

そこでうまく結果が出なければ、 サービスに移るのがよいでしょう。もし明確な答えが得られたならば サービスを使って図書を他館から取り寄せれば、とりあえず完了です。

	A	B	C	D	E
1.	検索エンジン	ディレクトリー	NDL-OPAC	ILL	レフェラル
2.	NDL-OPAC	ディレクトリー	Webcat	検索エンジン	ILL
3.	ディレクトリー	検索エンジン	NDL-OPAC	ILL	レフェラル
4.	検索エンジン	ディレクトリー	Webcat	レフェラル	ILL
5.	Webcat	NDL-OPAC	検索エンジン	レフェラル	ILL

【No. 12】 レファレンス・サービスの情報源について記した文章のうち、最も適切なものを選びなさい。

1. 現代のOPACには、個々の資料・情報の全文を試験的に見ることができるものもある。しかし図書館では、まだ普及していない。これは、著作権の処理が難しいことも一つの原因と考えられる。このような、全文まで得られるOPACは、すでに従来の2次情報源にとどまらず、1次情報源も包含した新たなレファレンス・ツールと言える。
2. 情報源としてのレファレンス・ツールはいろいろな観点から区分することができる。資料・情報を1次情報源、2次情報源、3次情報源と見た場合、一般に専門学術雑誌は1次情報源と呼び、2次情報源には雑誌の個々の論文を集めて一冊にまとめた専門学術図書が当てはまる。さらに、それらを検索できるOPACは3次情報源と呼ぶ。
3. 考古学の分野では遺跡そのものを0次情報源と呼ぶことがある。このために、大学図書館では一般に遺跡の一つ一つの発掘物を1次情報源とみなし、そういう発掘物に関する専門図書を2次情報源とし、発掘物についてまとめた写真入りカタログなどは3次情報源と呼ぶ。
4. 大学図書館でレファレンス・コレクションを選定するのに、3次情報源を用いることがよくある。3次情報源とは「書誌の書誌」と言われるように、個々の事項をまとめた百科事典や、個々の論文をまとめた論文集のように、特定主題の情報が網羅的に集められて編纂されたものを指す。
5. レファレンス・ツールは、対象として事実そのものを求めるためのツールと、文献を求めるためのツールという二つの観点から分けることもできる。前者「事実検索」の代表的なツールとしては専門雑誌や専門図書があり、後者「文献検索」の代表例としては索引や便覧、現代ではインターネット検索エンジンがある。

【No. 13】 レファレンス・サービスには、質問回答に関する規定がある。以下の文章のうち、我が国で一般に認められている規定とその理由として、最も適切なものを選びなさい。

1. 病気に関する質問は受け付けない。よって、専門図書の排架情報案内もしない。理由は、生命に関わることは医療関係者が専門的に扱う内容であり、図書館は関知できないからである。
2. 法律相談は受け付けない。よって、利用者の要求内容に対応した専門機関の紹介も行わない。理由は、法律関係は法曹関係者が専門的に扱うべきことであり、諸機関を選択し案内するレフェラル・サービスも抵触するからである。
3. 身上相談や人生案内は受け付けない。よって、関係図書などの案内はしない。またこれに関わるレフェラル・サービスも受け付けない。理由は、利用者個人の問題なので公的機関である図書館は関与できないからである。
4. 系図作成は受け付けない。よって、戸籍調査なども断る。また特に明治以降の系図関係資料の提示はよほど慎重に扱う。理由は、プライバシーを侵害する危険性があり、また社会的差別を助長することも多いからである。

5. 学習課題としてのレポートや卒業論文などの質問は受け付けない。よって、資料・情報の提示は原則的にしない。理由は、学習課題は自力で解決することが原則であり、図書館といえども解答につながる手助けはすべきでないからである。

【No. 14】 利用者から寄せられた質問と、それを解決するレファレンス・ツールを示した文章のうち、最も適切なものを選びなさい。ただしツールはいずれも最新の版である。

1. 「松尾芭蕉」が俳諧宗匠として独立したのは何歳ごろか、どのような作品を残し、どのような作風であったかを調べたい。そのために『大漢和辞典』を使った。
2. 「computer」の用例の初出を調べたい。そのために『Roget's Thesaurus』を使った。
3. 「てんぷら」という言葉が食べ物以外の意味で文学作品中に用いられている用例と意味について調べたい。そのために『日本国語大辞典』を使った。
4. 「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」とは何かを知りたい。そのために『広辞苑』を使った。
5. 「二・二六事件」の背景や経緯、どのような人物が事件にかかわっていたかについて調べたい。そのために『現代用語の基礎知識』を使った。

【No. 15】 利用者の要求A、Bと、その要求を満たすために使用される情報源ア～キの組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

A. 米国の学術雑誌に掲載された中国の高等教育における情報リテラシーに関する論文を調べ、大学図書館から取り寄せたい。

B. ドイツの哲学者・社会理論家ユルゲン・ハーバーマスの著作の邦訳書を網羅的に探し、その中で現在購入可能なものはどれかを調べたい。

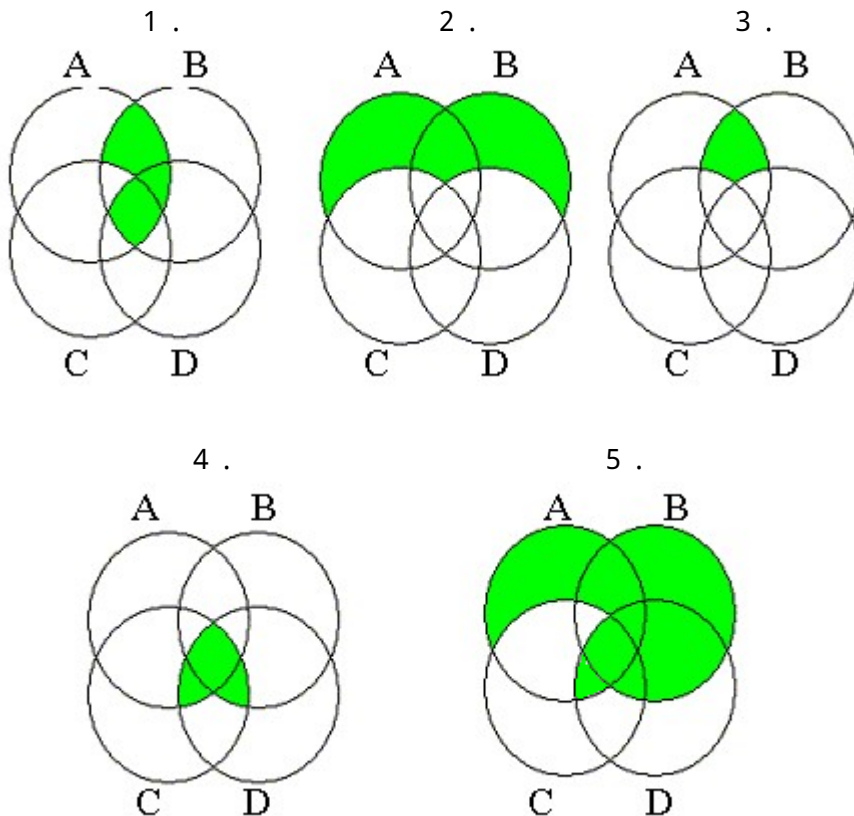
情報源： ア：『雑誌記事索引』 オ：J-BISC
 イ：Webcat カ：『日本書籍総目録』
 ウ：USMARC キ：Books in Print
 エ：ERIC

- | | A | B |
|----|-----|-----|
| 1. | ア、イ | カ、キ |
| 2. | イ、エ | オ、カ |
| 3. | ア、イ | ウ、キ |
| 4. | エ、オ | カ、キ |
| 5. | イ、エ | ウ、オ |

【No. 16】 大学図書館の利用者教育および教育を行う司書の役割について、最も適切なものを選びなさい。

1. 利用者教育と情報リテラシー教育は、それを担当する者が異なるという点においてまったく別のものである。通常、大学図書館の司書が利用者教育を受け持ち、情報学専門の教員が情報リテラシー教育を行うという役割分担がはかられている。
2. これからの大学は教員と司書が協力し合って、学生が主体的に情報リテラシー能力を身に付けることができるような教育の機会を提供する必要がある、司書もその教育を支援する役割を担う方向で動き出している。
3. 図書館が行う利用者教育は入学時オリエンテーションが主であり、個別の学生にレポート作成の情報支援を行うのは司書の役割を超えている。
4. 利用者教育は主として、主題知識の乏しい初学者である学生を対象に行うものであり、主題専門家である教員に対して行う必要はない。
5. 図書館は、学習・教育・研究を支援するため、常に快適な場所とニーズにあった資料の提供を行うことが重要であり、使いこなすスキルの養成は利用者自身にまかせるべきである。

【No. 17】 次の図はキーワードA、B、C、Dにヒットする文献集合を表したベン図である。論理和を「+」、論理積を「*」、論理差を「#」で表すとき、検索式(A + B) # (C # D)でヒットする部分が塗られた図として、最も適切なものを選びなさい。



【No. 18】 主題索引法に関する次の文章のうち、最も適切なものを選びなさい。

1. 事前結合索引法とは、索引時において、資料の主題に含まれる概念の組合せをあらかじめ一定の記号でつなげて（例：昆虫 採集 北海道）保存しておく方式をいう。これに対して、各概念を表す索引語を個別に列挙しておく方式を事後結合索引法という。
2. 情報検索における適合性を測る尺度として「再現率」と「精度」がよく使われる。再現率はどれだけノイズが少ない検索ができたかを示し、精度はどれだけ漏れなく検索ができたかを示す。
3. 事前結合索引法と事後結合索引法を比較すると、事後結合索引法のほうがより柔軟な検索が可能なため、検索精度の向上が期待できるが、反面再現率の低下を招く危険性も高い。
4. 索引対象資料中に現れる諸概念をどれだけ多く索引語として取り上げるかの度合いを、索引作業における「網羅性」という。網羅性を高めると検索精度の向上が期待できるが、反面再現率の低下を招く危険性も高い。
5. 索引語の具体性（詳しさ）の度合いを「特定性」という。索引作業においては特定性の高い索引語を付与するのが原則ではあるが、極端に細かな（詳しい）索引語を付与すると検索精度が低下するといわれている。

【No. 19】 学位論文は、学位を取得するために行われた研究の成果をまとめた報告書であり、大学に提出される。我が国の学位論文の特徴や入手方法について、最も適切なものを選びなさい。

1. 国立情報学研究所が提供している NACSIS-ELS の学位論文索引データベースでは、我が国の国公立大学で授与された学位論文が検索可能で、最近のものはデジタル化された全文の提供も行われている。
2. 国立国会図書館関西館では、関東大震災以後の博士学位論文を所蔵しており、全国の大学の博士論文を総合的に閲覧することができる。
3. 学位論文は、今まで公的な形で出版されていないため、流通経路に乗りにくく入手が難しかったが、2000年から国立国会図書館がオンデマンド出版を開始した。
4. 修士学位論文の索引・抄録については今まで検索が困難であったが、1946年以降分については国立情報学研究所のデータベースで無料利用できるようになった。
5. 印刷公表が義務づけられている修士学位論文は国立国会図書館が全大学分を所蔵しているが、博士学位論文の閲覧は授与大学に頼るしか方法がない。

【No. 20】 学術情報メディアに関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

1. 多くの学術雑誌では、投稿論文の内容を査読者が審査する「査読制度」をとっている。査読制度が適正に運用されている雑誌に掲載されると、投稿論文と著者が一定の評価を与えられたことになる。

2. 学術情報の流通には、学術会議も大きな役割を占めている。一般に学術会議の発表は、雑誌論文として一度発表された内容が多く、評価の高い学術会議で発表してはじめてフォーマルな研究成果と認められることになる。
3. 主に社会科学の分野で、研究機関が所属研究者の研究成果を速報する媒体として「テクニカルレポート」がある。多くの研究成果は再度学術雑誌等に発表されるが、オリジナルとして研究業績評価には極めて重視される。
4. 学術雑誌メディアとしての図書の重要性は、分野によって大きく異なる。一般的に、社会科学や自然科学の分野ではオリジナルな研究成果として図書の重要性が高いが、人文科学分野ではあまり重視されない。
5. 学術論文の評価の方法としてよく用いられる引用調査とは、当該論文が引用している先行論文をチェックし、重要な論文をどれだけ引用しているかを当該論文の評価指標とするものである。

【No. 21】 次の文章は、学術情報の流通基盤を整備する上での基本的方策について述べたものである。

に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

1. 大学図書館における資料収集・提供機能の強化

学術研究を効率的に行うために、各大学の特色等を踏まえた資料収集方針を策定する必要がある。特に、電子ジャーナルの購読に当たっては、 A と呼ばれる大学キャンパス全体を単位とした購読契約とする場合が多いことから、経費の負担方法および購読雑誌の種類について、利用実績等も勘案しつつ、学内での合意形成を進める必要がある。

2. 統一的な情報発信体制の確立

大学等から発信される様々な学術情報を簡便に利用するためには、総合的な情報の発信窓口である B を設置し、統一的な規約によって情報を発信する必要がある。このため、大学図書館が中心となって、情報の形式、登録方法などに関する統一的なルールについて、学内での合意を形成する必要がある。さらに、大学図書館と情報処理関連施設等が協力して情報発信のためのシステムの設計・構築を行う必要がある。

3. 国際的な流通の促進

日本発の学術雑誌を広く流通させる取り組みが重要である。これには、アメリカおよびヨーロッパにおいて推進されている C がある。学協会による電子ジャーナル発行を支援し、学術情報の新しい流通ルートを開拓することで学術研究を活性化するのがねらいである。これらと連携して、諸外国の学術雑誌流通ルートを活用することや、大学図書館の連合体を通じて他国の研究者等に働きかけるなど、世界的な効果が期待される方策を行う必要がある。

	A	B	C
1.	サイトライセンス	マイライブラリー	J-STAGE
2.	サイトライセンス	ポータル	SPARC
3.	アプルーバル・プラン	電子レファレンス	ICOLC
4.	コンソーシアム	ホームページ	J-STAGE
5.	コンソーシアム	OPAC	SPARC

【No. 22】 図書館蔵書の評価方法に関連する説明で、最も適切なものを選びなさい。

1. 蔵書評価での蔵書数量法は、該当分野の蔵書数が多ければ多いほど利用者が資料を探すのが困難になって文献を見つける確率は低くなるので、資料の数を一定範囲内に抑えるための評価法である。
2. 蔵書評価での観察法は、利用者が特定主題の蔵書をどのように利用しているかを、司書が書庫や閲覧室の巡回を通して観察し評価するものである。このために、利用者の多い大規模図書館向けの調査方法と言われている。
3. 蔵書評価での入手可能性調査は、購入予定の資料が書店でどの程度入手できるか、またできないとすると入手を可能にする方法は何か、などを明らかにする、蔵書構築のための調査方法である。
4. 図書館蔵書の貸出調査結果を貸出頻度の昇順に並べた場合、その貸出パターンが正規分布曲線に近ければ近いほど、蔵書の構成が妥当であるといえることができる。
5. 蔵書中の学術雑誌の優先順位を決定するには、複写回数などの利用度データ、該当分野研究者の意見、引用分析の結果、価格等の複合的な要因を基礎とするのが望ましい。

【No. 23】 図書館情報学に関する法則についての記述として、最も適切なものを選びなさい。

1. 「ジップ (Zipf) の法則」とは、あるテキスト中で、それぞれの語の使用頻度を調べると、一部の語が頻繁に用いられ、多くの語はわずかしか用いられない現象をいう。
2. 「80/20 の法則」とは大規模図書館の蔵書利用では多数の資料に利用が分散し、比較的よく利用される蔵書 80%と利用されない蔵書 20%に分けられる現象をいう。
3. 「ロトカ (Lotka) の法則」とは「科学の生産性に関する逆自乗則」とも呼ばれ、論文生産性の高い研究者とわずかな数の論文を発表する研究者はごく少なく、中程度の生産性を占める研究者が多数を占める現象をいう。
4. 「オブソレッセンス」とは、文献の利用はその刊行から一定年数 (理工系では約 10 年) までは次第に増加するが、それ以降は減少に転じる現象をいう。
5. 「ブラッドフォード (Bradford) の法則」とは、理工学分野で頻繁に引用される重要な論文の掲載誌について、特定誌への集中は見られず多くの雑誌に分散するという現象を数式化したものである。

【No. 24】 電子ジャーナルに関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

1. 電子ジャーナルの全文データは、各出版社によって固有の PDF 形式で暗号化されているため、表示するためには出版社ごとに専用の閲覧ソフトウェアが必要である。これは契約と同時に出版社から貸与を受けて使用する。
2. 主要な出版社の多くが引用文献間の結合を行う相互参照システムに参加しており、個々の論文の参考文献から他社の電子ジャーナルの論文へとリンクをたどることが可能となってきた。
3. 電子ジャーナルをディスプレイに表示したり、ダウンロードし二次加工、再配布するのは通常の利用範囲であるが、プリンタに出力するには論文ごとに料金を支払う必要がある。
4. 現在、電子ジャーナルで用いられているファイル形式は、テキストと表・数式には対応しているが、図版は通常含まない。よって図版については、冊子体を参照するか、別途出版社サイトからダウンロードする必要がある。
5. 電子ジャーナルによる出版は印刷・製本・配送のコストを飛躍的に節減することができる。このため、2000年頃から内外の大部分の出版社では、学術雑誌の冊子体を廃止し電子ジャーナルのみの出版が加速している。



【No. 25】 資料保存について述べた文章として、最も適切なものを選びなさい。

1. 資料を劣化に導く原因として大きなものは紫外線の不足である。紫外線が不足すると、書架の資料の背表紙が変色する現象が見られる。
2. 強い酸性のクラフト紙の封筒に長期間、資料を入れておいたために、封筒の酸が資料に移り変色することがあるが、この現象を「酸の移行」という。この現象は、中性紙の封筒に入れ替えれば最初の状態に戻るため、早期に処置することが必要である。
3. 最近増えてきた接着剤だけで製本した無線綴じの資料は、糸綴じのものより耐久性に優れ文献複写も容易なため、大学図書館で行われる雑誌製本の主流となってきた。
4. 酸性紙の資料は、利用されることで常に空気にふれると、劣化の速度が落ちる。このことを欧米の図書館では「スロー・ファイアー」と名付け、資料の劣化防止策として頻繁な利用を呼びかけている。
5. 保管環境の中で、資料に与える影響が最も大きいのが温度と相対湿度である。書庫などの環境を適正な温度と湿度に保つことが大切で、特に繰り返し起こる急激な温度と湿度の変化は資料の劣化原因となるので避けるべきである。

【No. 26】 次に示す図はある図書の標題紙および奥付である。『日本目録規則 1987 年版改訂 2 版』の規定にもとづき、単行書誌単位のタイトルと責任表示に関する事項を記述したものととして、最も適切なものを選びなさい。

(標題紙)

(奥付)

<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">カラスの早起き、スズメの寝坊 文化鳥類学のおもしろさ</p> <p style="text-align: center;">-----</p> <p style="text-align: center;">柴田敏隆</p>	<p style="text-align: center;">新潮選書 </p> <p style="text-align: center;">カラスの早起き、スズメの寝坊 <small>はやお</small> <small>ねぼう</small> <small>ぶんかちょうるいがく</small> 文化鳥類学のおもしろさ</p> <p>著 者……………<small>しばたとしたか</small>柴田敏隆</p> <p>発 行……………2002年7月20日 8 刷……………2003年5月15日</p> <p>発行者……………佐藤隆信 発行所……………株式会社新潮社 〒162-8711 東京都新宿区矢来町71 電話 編集部 03-3266-5411 読者係 03-3266-5111</p> <p>印刷所……………大日本印刷株式会社 製本所……………株式会社大進堂</p>
---	---

- 1 . カラスの早起き、スズメの寝坊 : 新潮選書 ; 柴田敏隆著
- 2 . カラスの早起き、スズメの寝坊 : 文化鳥類学のおもしろさ, 柴田敏隆著
- 3 . カラスの早起き、スズメの寝坊 : 文化鳥類学のおもしろさ / 柴田敏隆著
- 4 . カラスの早起き、スズメの寝坊 : 新潮選書 / 柴田敏隆著
- 5 . カラスの早起き、スズメの寝坊 : 新潮選書, 新潮社

【No. 27】 『日本目録規則 1987 年版改訂 2 版』の第 9 章「電子資料」に規定されている内容として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 . 電子資料を利用する際にキャリア (物理的媒体) に直接的に触れる必要がないものを、リモートアクセスと呼ぶ。
- 2 . 第 9 章「電子資料」はこの章だけで完結しており、いかなる場合も他章の規定を参照する必要はない。
- 3 . 電子資料のアップグレードを表すバージョンの表示は、版表示としては取り扱わない。
- 4 . 第 9 章「電子資料」の規定は非逐次刊行資料にのみ適用される。
- 5 . ネットワーク上の電子資料について記述する場合、タイトルを記述する必要はない。

【No. 28】 主要な分類法に関する文章A～Dのうち、正しい記述を全て含んだ組合せとして、最も適切なものを選びなさい。

- A．米国議会図書館分類表は、カッター(C. A. Cutter)の分類法を基礎に作成された非十進体系の一館分類表であり、資料(文献)の量に応じて分類の項目(詳細度)を変更するという文献的根拠の考え方を導入している。
- B．国際十進分類法は、学术论文の分類まで可能とする目的でLCCを基に作成された分類法であるが、アレイと呼ばれる数字と連結記号を用いて、多面的に主題を表現できる列挙型手法を取り入れている。
- C．コロソ分類法は、インドのランガナタン(S.R.Ranganathan)が創案した分類法で、複合主題をファセットによって分析し、記号を合成することによって分類する分析合成型分類法である。
- D．ブリス展開分類法は、主要なクラスの定義とその相互関係の基礎を、科学と教育に携わる人々に広く認められた考え方に置くべきであるという、網羅性の原理を採用した分類法であり、絶対選択方式の採用、簡潔な記号法等の特徴を持っている。

- 1．A
- 2．A、C
- 3．B、C、D
- 4．C
- 5．C、D

【No. 29】 日本十進分類法(NDC)に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1．NDCの分類規程によれば、分類表適用の詳細度の目安として、蔵書数20万冊以下の図書館では要目表までとするのが適当であるとされている。しかし大学図書館の場合は専門書が多く、公共図書館のように蔵書の更新をすることも少ないので、蔵書の規模に関わらず細目表まで適用しなければならないと、補記されている。
- 2．相関索引は、分類項目名を分野別に五十音、アルファベット、数字の順に配列し、項目名に分類番号を対応させた一覧表であり、分類担当者が不得意な領域の主題を扱った図書を分類するときは、相関索引によって分類番号を決定するだけでよい。
- 3．NDCはデューイ(M. Dewey)が創案したDDCの十進方式を採用しているが、学問分野の第一次区分は、カッター(C. A. Cutter)の書誌分類法の第一次区分を基にしている。これは、NDCの編纂当時には、DDCよりも書誌分類法の方が図書館分類法として普及していたからである。
- 4．一般補助表のうちの形式区分は、本表の分類番号を表現形式によって細分するために用いられ、叙述の形式による細分に用いられる外形式と、出版の形式による細分に用いられる内形式があるが、この二つを組み合わせることは禁じられている。

5 . 1980 年代になって国立国会図書館による JAPAN/MARC の頒布や、学術情報センター（現国立情報学研究所）による総合目録システムの形成など、書誌情報の電算化が進み、NDC も第 8 版から機械可読形態化が行われ、第 9 版の改訂作業も第 8 版をデータベース化した上で行われた。

【No. 30】 以下の A、B は、『基本件名標目表 第 4 版』の音順標目表から抜粋したものである。

『基本件名標目表 第 4 版』に関して、最も適切なものを選びなさい。

A. 兵器 559 559

TT : 国防 91

BT : 軍備

NT : 化学兵器 . 核兵器 . 生物兵器 . 戦車 . 電子兵器 . 武器 . ミサイル

B. 民話 388 388

UF : 昔話

TT : 民俗学 229

BT : 民俗学

NT : 寓話 . 笑い話

RT : 伝説

- 1 . 両例とも、「BT」の記号で、階層関係にある下位標目が 1 個示されている。分類表と同じく知識の全構造を示す巨大な階層的体系の中に各標目を位置づけているので、各標目の下位標目は必ず 1 個であって、複数示されることはない。
- 2 . 両例とも、「NT」の記号で、階層関係にある上位標目が複数示されている。例 A . では各種の「兵器」が列挙されているが、ここにはない「毒ガス」「原子爆弾」等は標目として未採用であるらしいことが推量できる。
- 3 . 例 B . 中、「UF」の記号で示された「昔話」は件名標目として用いられない語で、昔話を主題とする図書には「民話」を付与する。一方「RT」の記号で示された「伝説」は関連標目であり、件名標目として用いられる。
- 4 . 両例とも、細目の適用に関する指示は、特に表示されていない。このような場合、一般細目はいずれの標目のもとでも適用できるが、形式細目・地名細目等その他の種類の細目は適用できないこととされている。
- 5 . 両例とも、 の記号で、各標目に対応する『日本十進分類法』第 8 版および第 9 版の分類記号が示されている。『基本件名標目表』と『日本十進分類法』は連動して維持されているため、標目と分類記号は常に一対一に対応し、一対多対応はない。

【No. 31】 件名目録法に関して述べた記述として、最も適切なものを選びなさい。

1. 一般的に言って、分類目録では特定主題でも観点が異なれば分散するのに対して、件名目録では観点が異なっても集中できるという融通性があり、これは利点といってよい。
2. 一般的に言って、件名目録は分類目録より体系性・理論性に優れている。反面、日々発生する新主題に対する受容性は、分類目録よりも劣る。
3. 我が国の代表的な件名標目表として、『基本件名標目表』と『国立国会図書館件名標目表』がある。前者は JAPAN/MARC に、後者は TRC 等の民間 MARC に、採用されている。
4. 米国の代表的な件名標目表として Library of Congress Subject Headings がある。中規模程度までの図書館蔵書を対象としており、収録語数は 1 万語程度である。
5. 件名目録と分類目録には一長一短があるが、伝統的に英国や日本の大規模図書館では、分類目録よりも件名目録が多く編成されてきた。

【No. 32】 現在インターネット上で提供されている情報サービスについて、最も適切なものを選びなさい。

1. インターネット上の検索エンジンは、その検索手法によって一般に「サーチ型」、「ディレクトリ型」、「データベース型」と大別されるが、これは検索ロボットの種類の違いによる。
2. 「ダブリン・コア」はインターネット上の情報資源を記述するメタデータの唯一の世界標準規格であり、「Google」、「Yahoo!」等ほとんどの検索エンジンはこの規格に基づいて情報を収集・提供している。
3. メールマガジンとは、発行者が登録利用者に情報を送る発信型のメディアであり、参加者が自由に発信する情報交換型のメーリングリストとは区別される。
4. インターネット上の情報は世界各国に原則として一つずつあるメインサーバでコントロールされており、日本では現在、国立情報学研究所の千葉分館にサーバが設置されている。すべての情報サービスはこのメインサーバに登録することによって利用可能となる。
5. インターネット上の無料データベースの増加に伴って、国産の商用データベースは激減しているため、データベース提供業者の多くが、無料データベースへの規制を求めている。

【No. 33】 ネットワーク上で使用される文字コードについて、次の記述の中で、最も適切なものを選びなさい。

1. 英数字を表示するために用いられる 1 バイトの ASCII 文字は、2 バイトの日本語文字コードと混在すると文字化けを起こすことがあるので、国内で使用されているコンピュータでは 1 バイトの文字を日本独自のコード JISCII で表現している。
2. WEB ページ等で中国語を表示するために用いられる文字コードである CJK は、簡体字と繁体字の二つの文字セットから構成されている。

- 3 .電子メールの添付ファイルをエンコードするのに用いられる JIS や base64 は、バイナリファイルをテキストデータ化するための特殊な文字コードである。
- 4 .コンピュータ上で使用される日本語文字コードとしては、UNIX 系マシンでは EUC、パソコンではシフト JIS が主に用いられている。通常、ブラウザでは自動変換されて、どちらの文字コードであっても正しく読めるようになっている。
- 5 .コンピュータ上で多言語を処理するための文字コードである Unicode は、各言語体系毎に再定義が許されていて、漢字については異体字を含め、字種を精密に区分できるので、日本では最も普及している。

【No. 34】 我が国の電子図書館の歩みに関する次の記述の中で、最も適切なものを選びなさい。

- 1 .1990 年に WWW がインターネットのプロトコルとして普及を始める以前、欧米の図書館の多くは文字ベースの情報サービスを提供していたが、日本ではすでに画像データも含めたパイロット電子図書館プロジェクト・サービスが行われていた。
- 2 .1996 年学術審議会は建議『大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について』を発表し、大学における電子図書館的機能整備の重要性が明確化された。その結果、翌年から日本初の本格的電子図書館プロジェクトである学術情報センターの「サラマンダー・プロジェクト」が発足した。
- 3 .1997 年にサービスを開始した NACSIS-OPAC は、当初 NACSIS-ILL の一部として有償で研究者だけに提供されていたが、その後、独立したサービスとして自由に利用できるようになった。
- 4 .国立国会図書館は 1998 年に「電子図書館構想」を発表した。そこでは蔵書のすべてを電子化し、江戸期の刊本を含めた日本国内の全出版物を収録し、世界最大の仮想図書館を目指すことを宣言した。
- 5 .東京大学内にあった文献情報センターは、1986 年に大学共同利用機関・学術情報センターとして発足し、様々な学術情報サービスを充実し、我が国の電子図書館の発展に寄与してきた。

【No. 35】 以下の文章は、今後の電子図書館に関するものである。一般的な用語として、最も適切な組み合わせを選びなさい。

今後の電子図書館は、メタデータを活用した電子情報の収集、蓄積、提供サービスを中心として発展すると見られる。その代表的な機能としては、大学・研究機関で生産された知的生産物を収集、保存し、外部に提供する電子的な書庫ともいべき機関 、インターネット上の情報資源を主題に基づきシステムティックに発見するためのガイドであるサブジェクト・、多様な情報を利用者にワン・ストップで提供する図書館 などが挙げられる。また、こうした情報を利用するため、電子図書館サービスの利用者が各自の要求に応じてメニューや構成をカスタマイズでき、あたかも個人図書館のように使える 機能も重要である。

- | | | | |
|-------------|------------|----------|------------|
| 1 . A=アーカイブ | B=ポータル | C=ゲートウェイ | D=ナビゲータ |
| 2 . A=リポジトリ | B=ゲートウェイ | C=ポータル | D=マイライブラリー |
| 3 . A=ポータル | B=リポジトリ | C=ナビゲータ | D=ゲートウェイ |
| 4 . A=リポジトリ | B=ナビゲータ | C=ゲートウェイ | D=ポータル |
| 5 . A=アーカイブ | B=パスファインダー | C=ポータル | D=インターフェイス |

【No. 36】 図書館資料のデジタル化プロジェクトの記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 . 国立国会図書館のDnavi は、国立国会図書館所蔵の明治・大正期刊行図書のすべてをデジタル化して公開するための実験事業であるが、現在は国立国会図書館の本館および関西館の館内でのみ閲覧が可能である。
- 2 . American Memories は、米国議会図書館が電子図書館事業として貴重書・文書・写真・地図・動画などをデジタル化したもので、現在はOCLC から有料でサービスされている。
- 3 . ゲーテンベルク計画は、英国図書館が1991年より10年間の期間限定で始めたプロジェクトで、著作権の切れた古典や重要文書をデジタル化し、英国図書館のサイトから無料で提供しようとするものであった。
- 4 . 神戸大学附属図書館が提供する「震災文庫デジタルギャラリー」は、阪神・淡路大震災で喪失した貴重な文献資料をデジタル化したものである。著作権処理の問題から、写真や動画の大部分は有料で公開されている。
- 5 . JSTOR は、人文科学を中心にビジネス分野や数理科学も含む学術雑誌を創刊号からデジタル化するデジタル・アーカイビングを目的として設置された非営利団体で、雑誌バックナンバーのウェブサービスを有料で提供している。

【No. 37】 図書館資料のデジタル化技術の記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 . デジタル技術の変化に柔軟に対応できるよう、汎用性の高い可逆圧縮方式でのマスター画像の作成や、マイクロフィルムなどのアナログ媒体でのマスター画像の作成が望ましい。
- 2 . 図書館資料をデジタル化する場合の画像形式としては、現在PDF形式が標準であるが、閲覧用ソフトウェアが高価であるため利用者への公開には適していないという問題がある。
- 3 . デジタル画像をウェブで公開する場合、HTMLの基本機能によって、画像に電子透かしを入れることができるので、許可なく利用されることを防止できる。
- 4 . 静止画像および動画の形式として、最も普及しているのはJPEG形式とBMP形式であるが、人文系分野の学術研究者の間ではTeX形式も画像形式として普及している。
- 5 . 各図書館でデジタル化した資料は、国立国会図書館の電子納本制度の対象となるので、DVDの形でデータを納品することが義務づけられている。

【No. 38】 我が国の大学図書館についての記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1．大学図書館は設置主体が多様であるが、我が国においては大学図書館の設置の根拠となる法令は設置主体にかかわらず、『大学図書館法』のみである。
- 2．我が国の大学図書館における点検・評価活動は、最初、図書館内部の関係者による自己点検・自己評価から始まり、その後外部の者による外部評価が実施されるようになってきた。
- 3．我が国における大学図書館の一般市民への開放は、公共図書館を通じて蔵書を提供する段階の大学が多く、直接の貸出利用を認めている大学は全国でも数校程度にとどまっている。
- 4．我が国の大学図書館員は、英米などのように大学院レベルでの養成教育が必須となっていないが、大部分の大学では事務職員とは別職種で、専門職としての身分保障がある。
- 5．我が国の大学図書館では伝統的に、個々の大学固有の使命、目的、特性にかかわりなく、学生に対する学習図書館的機能のみに集中し、研究図書館的機能が軽視されるという傾向が指摘されてきた。

【No. 39】 知的財産管理およびビジネス支援としての図書館機能に関連する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1．平成14年に成立した「知的財産基本法」でいう「知的財産」には、発明、考案、植物の新品種、意匠、商標、文化財、遺跡などが含まれるが、著作物については著作権法による保護があるため対象外になっている。
- 2．我が国の特許情報を簡易に検索できるものとして国立国会図書館の特許電子図書館があり、今年出願された特許も含め最新情報を網羅的に検索できる。
- 3．特許庁の特許電子図書館サービスでは、特許・実用新案・意匠・商標などの公報を無料で検索できる。図書館ではこういったサービスの普及によって、ビジネス支援などをこれまで以上に容易に行えるようになる。
- 4．我が国の公共図書館でもビジネス支援活動が次第に行われるようになってきたが、営利活動に利用される場合には『図書館法』の無料原則は適用されないため、資料提供やレファレンスは有料で行われるのが普通である。
- 5．平成10年文化庁は、著作者が、自分の著作物を他人に自由に使ってもらってよいと考える場合にその意思を表示するために、「自由利用マーク」を定めた。このうち「プリントアウト・コピー・無料配布」OKマークがある著作物については、変更・改変、加工なども含め自由に利用できる。

【No. 40】 図書館の施設・設備に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- 1．ブックディテクションシステムとは、利用者がセルフサービスで資料の貸出処理を行えるシステムで、処理を怠って資料を持ち出すと警告音を発する等の機能も備えている。

2. サイン計画とは、利用者を的確に図書館サービスへと導くためのサインについて、誘導、識別、指示の機能を持つ個々のサインと図書館サービスを組み合わせ、一つの体系として効率的に配置することである。
3. 保存書庫とは、保存を主目的とする書庫で、利用頻度の高い資料を効率よく提供できるように、利用頻度が減った資料を別置して収納する。国立大学は国内を8つの地区に分け、地区毎に共同の保存書庫を設置している。
4. 集密書架とは、スチール製の書架列をレール上で前後、左右、上下に可動させることにより通路スペースを縮小させた書架群である。固定書架と比較すると、収容力が飛躍的に増し、多人数が同時に使用できる、といった利点がある。
5. キャレルとは、本来は図書館内の個人用閲覧席のことであったが、転じて個人用の閲覧室を指すようになった。落ち着いて利用ができるため、日本の大学図書館では閲覧席のすべてをキャレルにする方式が主流である。

【No. 41】 次の文章は、海外のある大学図書館（University of ABC と表記する）の館内に配置したコンピュータおよびインターネット利用規則の一部である。この規則内容と合致する記述として、最も適切なものを選びなさい。

CONDITIONS OF USE

Each library computer is clearly labeled with the functions available and any other use is prohibited. Clients may use library computers to access the following resources:

- Local applications
- Web sites within the University of ABC domain
- Licensed electronic resources including, but not limited to, databases, e-journals, the Library's virtual reference collection, e-Newspaper Gateway etc.
- Other Library Catalogues

Access for general internet browsing or to non-proxied web sites will require acknowledgement of these conditions of use and authentication with a username and password.

UNACCEPTABLE USE

Unacceptable use of the Library's computing and internet access facilities includes, but is not limited to:

- Destruction of, or damage to equipment, software, or data belonging to the University of ABC or other clients
- Display of offensive or inappropriate material. This can include, but is not limited to, pornography, hate sites, gratuitous violence and sites using frequent, highlighted offensive

language

- Use of chat or email during core hours (9am-5pm) except on specifically designated machines
- Playing games, gambling, or dating/match-making sites
- The violation or attempted violation of any computer network's system security or unauthorized access to any other network or computer system
- The violation of the privacy of individuals or entities that are creators, authors, users or subjects of the information resources.
- Unauthorized reproduction of material protected by copyright, or use of audio-visual items in which copyright subsists, without permission
- Inappropriate use of email services, such as spamming

DISCLAIMER

No responsibility is accepted for any damages, direct or indirect, howsoever caused, arising from clients' use of library computers or associated internet access.

注記 : gratuitous (いわれの無い)

- 1 . 利用できるコンピュータには所定のラベルが貼ってあり、利用上の注意と禁止行為が明記されている。
- 2 . データベース、電子ジャーナル等の電子コンテンツの利用にはユーザ名とパスワードが必要だが、一般的なインターネットの利用はそれらを入力しなくても自由にできる。
- 3 . インターネットの利用以外に、コンピュータ自体に内蔵されているソフトウェアを利用するには別途申込が必要である。
- 4 . 午前9時から午後5時までは、電子メールの利用は全面的に禁止されている。
- 5 . コンピュータやインターネットの利用により生じたいかなる損害にも、図書館は責任を負わない。

【No. 42】 次の文章は、日米の学術情報の流通促進を図るためのプロジェクトを紹介しているものである。内容に合致する記述として、最も適切なものを選びなさい。

The Global ILL Framework(GIF) was launched at the beginning of May 2002 by the AAU/ARL/NCC Japan Project. GIF is the Japan Project's third major Interlibrary Loan (ILL) and Document Delivery (DD) initiative with Japanese libraries. Breaking new ground the Global ILL Framework (GIF) is the first project between North America and Japan to use the ISO ILL Protocol (International Organization for Standardization) for communication of ILL requests between the NACSIS ILL and OCLC ILL systems. The great benefit of using the ISO ILL Protocol is that ILL staff may continue using the messaging system used for the majority of their other ILL requests, and thus need not learn another messaging system

or proprietary email requesting format.

This linkage between NACSIS ILL and OCLC ILL is also of great benefit to the large number of scholars at institutions without Japanese Studies librarians because ILL librarians can OCLC for their ILL messaging and fee payment with Japanese libraries.

As of August 2003 the GIF initiative expanded to Phase II, the lending of books. Now all GIF participants can both request photocopies (non-returnables) from an unlimited range of materials held by participating libraries and borrow books from participating Japanese institutions. To date 86 Japanese libraries have signed up to participate in GIF.

North American participants use the NACSIS Webcat to search for holdings. Copy requests are sent via the OCLC ILL system and lending requests are received via OCLC ILL. OCLC's IFM (ILL Fee Management) is used to pay applicable copy fees. Documents are sent and received via Ariel, an Internet-based document transmission system developed by the Research Libraries Group (RLG) and now owned by Infotrieve.

The GIF project vastly opens the range of materials available internationally through interlibrary loan and offers enormous potential for research and collaboration among North American and Japanese scholars. Japanese Studies faculty and students who have need for materials held in Japan should alert their institution's ILL staff to this new program.

注記: AAU (Association of American Universities) ARL (Association of Research Libraries)
NCC (National Coordinating Committee on Japanese Library Resources)

- 1 . 北米のプロジェクト参加館にとっては、北米の多くの図書館が使用するシステムとは別のシステムを利用するために、新たに操作方法の習得が必要である。
- 2 . 北米のプロジェクト参加館は、ILLのリクエストの送受信はOCLCのILLシステムを使うことができるが、ILLにかかる料金は日本の図書館が指定する方法で支払う。
- 3 . 北米のプロジェクト参加館は、直接NACSIS-ILLのシステムを操作して、日本の大学等の所蔵を確認し、リクエストを送ることができる。
- 4 . 北米のプロジェクト参加館は、NACSIS Webcatを使って日本の大学等の所蔵を確認する。
- 5 . 北米のプロジェクト参加館は、日本の図書館へ複写の依頼はできるが、現物貸借については依頼できない。

【No. 43】 「知識」に関する次の文章を読み、その内容として、最も適切なものを選びなさい。

Besides not being guaranteed to be a truth, knowledge in everyday life is fragmentary and unorganized. It also coexists with contradictory knowledge. Knowledge in some academic subjects is not allowed to be contradictory; however, in everyday life, we can live with contradictory knowledge as long as such knowledge is not contradictory in some immediate sense. When knowledge becomes contradictory, we tend to expand that area, add some extra conditions to the knowledge, and make it noncontradictory. No one has studied this aspect of knowledge in everyday life, but recently, artificial intelligence researchers have been actively trying to make use of such nonreliable but useful knowledge.

Knowledge requires explanation. We are generally not aware of this need in everyday life. However, any subject we study comes with its own explanation. Knowledge without explanation is simply an axiom of the subject. Generally, explanation is given using the reconstruction from elements principle. In other words, we explain a concept by combining its partial concept and elementary concepts. Such concepts are the explained using their partial concepts and elementary concepts. The basic concept reached by repeating this operation are considered self-evident axioms or as corresponding to already existing ideas.

注記 : contradictory (矛盾した) axiom (公理)

- 1 . 学問世界であっても、一般に、相矛盾した知識の共存は許される。
- 2 . 日常的世界に関する相矛盾した知識を、学問的に解明する方法はある。
- 3 . 学問世界の「公理」は、部分概念や要素概念を組み合わせることで説明できる。
- 4 . ある「概念」は、より上位の概念によって説明することが可能である。
- 5 . 学問世界では、知識が矛盾をきたした場合には新たな条件を付加することで矛盾を解消する。

【No. 44】 次の文章は、ある大学の美術図書館が学生に対してレポートを書く時の文献検索の方法を、7つのステップに分けて指示したものである。その順番として、最も適切なものを選びなさい。

A : Identify Your Topic

State your topic as a question. For example, if you are interested in finding out about the effect of sealed environments in the workplace, you might pose the question: Use the question statement to identify the main ideas and keywords related to your topic.

B : Evaluate What You Have Found

If you have found too many or too few resources, you may need to narrow or broaden your search. You should also examine the authority and quality of all the material you find. You may need to check

with your instructor or a reference librarian for help.

C : Use Indexes to Find Periodical Articles

Choose the index best suited to your topic. Use resources by subject to find out which may be suited to your topic.

D : Find Background Information

Look up your keywords in subject encyclopedias or dictionaries. This will help set the content and scope of your research. Notice relevant bibliographies at the end of these entries.

E : Finding Special Resources

There are many types of special resources to consult. These include theses, primary sources, images and web pages. For internet resources, use search engines, directories or homepages like the one at the Fine Arts Library homepage, which lists some of these web resources.

F : Use the Library Catalogue to Find Books

Look up book titles or authors of items you have found in bibliographies or course listings. Browse subject headings or use keywords associated with these items to find more relevant titles. Watch for book-length bibliographies on your topic that list citations to books and articles in your subject area.

G : Cite What You Have Found

Select an appropriate style manual and use it consistently. Write out a complete citation for each source you have found.

- 1 . A - C - E - F - D - B - G
- 2 . A - B - F - C - E - D - G
- 3 . A - E - C - D - B - F - G
- 4 . A - D - F - C - E - B - G
- 5 . A - E - D - B - F - C - G

【No. 45】 情報検索システムで使われる統制語彙 (controlled vocabulary) の意義について述べた次の文章内容として、最も適切なものを選びなさい。

One of the major functions of the controlled vocabulary is to control synonyms, that is, to specify which of several synonymous expressions is to be used by indexers and searchers and thus to avoid the separation of identical subject matter under different terms in the system. Such control is achieved simply by choosing one of the possible alternatives, the “preferred term,” and referring to it *see* or *use* from the variants under which certain users may be likely to approach the system.

It should be obvious that the synonym selected as the preferred term, that under which documents are actually indexed and searched for, must be the one under which the majority of system users are likely to look first.

The controlled vocabulary also distinguishes among homographs, that is, words with identical spelling but different meanings, usually by means of a parenthetical qualifier or scope note. Thus MERCURY (mythology) tells us that this term is to be used exclusively for a mythological character and not for a planet, a metal, a car, or any other possible context. By controlling synonyms and distinguishing among homographs, the controlled vocabulary avoids the dispersion of like subject matter and the collocation of unlike subject matter. In this way it helps to achieve the objective of consistent representation of subject matter in indexing and searching.

注記: preferred term (優先語) identical (同一の) mythology (神話学) qualifier (限定子)

1. 統制語彙においては、同一概念が異なった語で表される「同義語」をコントロールする。このために多くの利用者が想起するであろう語をそれぞれ優先語として採用し、相互に関連づけてどの語からでも検索できるようにする。
2. 統制語彙においては、同一の語が2つ以上の概念を表す「同形異義語」を、括弧による限定語を付したりして区別する。これによって例えば、共通の語源や語形を持つ様々な分野の“Mercury”に関する資料を集中して通覧することが可能となる。
3. 統制語彙では、用語間の構文関係性の管理が重要である。例えば“Mercury”という主題であれば、神話の「マーキュリー」や惑星名、自動車名「マーキュリー」という各用語間の構文関係を適切に表現できるようなコントロールがなされている。
4. 統制語彙においては、同義語、同形異義語をコントロールすることにより、同一主題を集中させて検索漏れを防止することと、類似してはいるが識別されるべき主題を区別することが、ともに可能になる。
5. 統制語彙によって同義語等をコントロールすることは重要であるが、非統制のフリーキーワードとの併用も求められる。なぜならば、フリーキーワードでは単語間の意味的関連づけが利用できるからである。

【No. 46】 次の文章は、米国XYZ大学図書館における電子ジャーナル問題について述べたものである。この文章の内容に合致する記述として、最も適切なものを選びなさい。

As information from the Association of Research Libraries shows, the top research libraries in North America have been spending ever more money on ever fewer publications for at least the past fifteen years: the prices of serials have increased by 215%, library expenditures on serials have

gone up by 210%, and the serials titles purchased by large academic research libraries have decreased by 5%. The Consumer Price Index during the same period has increased by only 62%.

At XYZ library budgets for materials have increased by 149% during approximately the same period, but serials purchased have increased by only 5%--at a time when the number of serials published has increased by 138%. The contract colleges subscribe to 14% fewer serials than they did fifteen years ago, even though their combined library acquisitions budgets have increased over the past fifteen years by 117%. The XYZ libraries are therefore providing access to an increasingly smaller portion of the scholarly information that is being published.

There are several reasons for this problematic condition. One is certainly the growing commercialization of scholarly publishing, especially in the sciences and social sciences. Commercial publishers charge more for their materials than scholarly societies or university presses. Universities support research, and then scholars give that research to commercial publishers, who sell that research back to universities for very large profits.

There are other reasons for this crisis, however, besides commercialization. Perhaps the most important of these is the fact that the costs of publishing materials in traditional form are increasing to a point that in some disciplines it is becoming ever more difficult for scholarship to be published in a timely and useful fashion. The Modern Language Association has recently undertaken a study of university press monographic publishing, and has found that university presses are being forced to reject high quality scholarship submitted for publication, because they can no longer afford to publish such work.

注記 : Consumer Price Index (消費者物価指数)

1. 北米の大学図書館ではこの15年間、より多くの経費をかけ、より多くの出版物を入手してきたが、この状況は限界にきている。
2. 過去15年間、学術雑誌の発行タイトル数は若干減少しているが、消費者物価指数以上に雑誌価格が値上がりするので、図書館予算が多少増えても追いつかない。
3. 雑誌価格を版元別に調べてみると、学協会出版社や大学出版会の値上がり幅は商業出版社の値上がりよりも大きい。
4. 大学の研究者は商業出版社を通じて業績を発表するので、大学は著作権料等の形で研究費への投資のかなりの部分を出版社から回収することができる。
5. 学術出版における一つの問題は、いくつかの学術分野ではコスト上昇により、従来型の出版方式ではタイムリーな出版活動が不可能になっている点である。

【No. 47】 “ IFLA Principles for the Care and Handling of Library Material ” (IFLA の資料保存原則)
では、あらゆる図書館において、天災や人災への確に対処する備えの大切さを強調している。図書館
の防災計画で注意すべき点として、下記の内容と合致する最も適切なものを選びなさい。

Numerous resources have been published to aid institutions in implementing disaster avoidance measures and formulating a disaster response and salvage plan. Only the key points are listed here. It should be mandatory for every library to have a written plan in which all these elements are fully developed.

A phased approach can be used in disaster preparedness (as it can in preservation activities in general). That is, it is acceptable, as a first phase, to begin with a few sections (even in outline form), particularly if the institution focuses first on those issues that are of greatest concern. In a subsequent phase, the planners can gradually add more detail and other sections as they become better educated, have time to pursue the plan, and are able to develop consensus on how the institution should organize its preparedness activities.

Disaster planning usually involves five phases:

- Risk assessment ascertaining the dangers to the building and its collections
- Prevention implementing measures which will remove or reduce any danger
- Preparedness developing a written preparedness, response, and recovery plan
- Response procedures to follow when disaster strikes
- Recovery restoring the disaster site and damaged material to a stable and usable condition.

Make sure the plan is written clearly and understood by everyone likely to be involved. Update it regularly and store copies on- and off-site.

- 1 . 防災計画は、危険度の判定から復旧計画まで最初から網羅的に計画立案しなければいけない。
- 2 . 防災計画は、館独自で計画立案する必要はなく、上部機関や管轄の消防署が作成したものを使用すべきである。
- 3 . 図書館等が、防災計画をたてる際に対象にすべき災害は、台風や地震等の自然災害だけである。
- 4 . 防災計画は通常、危険度評価、予防、備え、対処、そして復旧の5段階で計画立案される。
- 5 . 防災計画書は、館長等の管理職が常に管理すべきものであり、一般職員に周知する必要はない。

【No. 48】 次の英文の に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

Library catalogs have also evolved with changes in technology. Early librarians kept inventories of their collections on clay tablets or on scrolls. When the codex format was established, librarians embraced that technology to create book catalogs and finding aids. A emerged around the turn of the 20th century, and the Library of Congress began distributing its B starting in 1901. Other libraries were then able to re-use the cataloging work done centrally. With the introduction of personal computers, librarians quickly embraced the new technology to offer their catalogs online.

C developed to offer shared bibliographic and authority records. Catalogs have now become an essential component in integrated library systems and with today's global Internet technology, D are part of even larger systems that include portals and gateways to digital resources in combination with the traditional library resources.

- 1 . (A) card catalogs (B) bibliographic utilities (C) printed cards
(D) online catalogs
- 2 . (A) online catalogs (B) printed cards (C) bibliographic utilities
(D) local catalogs
- 3 . (A) card catalogs (B) printed cards (C) bibliographic utilities
(D) online catalogs
- 4 . (A) online catalogs (B) bibliographic utilities (C) printed cards
(D) local catalogs
- 5 . (A) printed cards (B) card catalogs (C) bibliographic utilities
(D) local catalogs

注記 : 文章の初語に当たる場合も頭字は小文字で表記されています。

【No. 49】 Dewey Decimal Classification(DDC)のHierarchyに関する次の文章を読んで、Hierarchical forceの説明として、最も適切なものを選びなさい。

Hierarchy in the DDC is expressed through structure and notation.

Structural hierarchy means that all topics (aside from the ten main classes) are part of all the broader topics above them. Whatever is true of the whole is true of the parts. This important concept is called *hierarchical force*. Certain notes regarding the nature of a class hold true for all the subordinate classes, including logically subordinate topics classed at coordinate numbers.

Because of *hierarchical force*, hierarchical notes are usually given only once -at the highest

level of application. For example, the scope note at 700 applies to 730, to 736, and to 736.4. The words "Description, critical appraisal . . ." found in the scope note at 700 also govern the critical appraisal of carving in 736 Carving and carvings, and of wood carving in 736.4 Wood. In order to understand the structural hierarchy, the classifier must read up and down the schedules (and remember to turn the page).

Notational hierarchy is expressed by length of notation. Numbers at any given level are usually subordinate to a class whose notation is one digit shorter; coordinate with a class whose notation has the same number of significant digits; and superordinate to a class with numbers one or more digits longer. The underlined digits in the following example demonstrate this notational hierarchy:

600 Technology (Applied sciences)
630 Agriculture and related technologies
636 Animal husbandry
636.7 Dogs
636.8 Cats

"Dogs" and "Cats" are more specific than (i.e., are subordinate to) "Animal husbandry"; they are equally specific as (i.e., are coordinate with) each other; and "Animal husbandry" is less specific than (i.e., is superordinate to) "Dogs" and "Cats."

注記: wood carving (木彫) animal husbandry (畜産業)

1. あるクラスに対して項目見出し語や基本的な注記によって定義された属性は、そのクラスのすべての下位クラスにも適用される、という原則のことである。
2. 1回の区分に際しては、ただ一つの区分特性しか適用してはならず、その論理的帰結として下位クラスは相互に排他的である、という原則のことである。
3. あるクラスを細区分するかどうかや、本表や補助表や相関索引へある項目を追加するか否かは、その事柄に関する相当量の文献が存在するかどうかを基にして決める、という原則のことである。
4. ある主題の別の主題への応用、あるいはある主題の別の主題への影響に関する著作は、応用する方の主題、影響された方の主題に分類する、という原則のことである。
5. 同一の上位主題の下に3つ以上の主題を均等に扱っている著作は、それらの主題をすべて含むすぐ上の番号に分類する、という原則のことである。

【No. 50】 次はある電子図書館関係の規格で用いられている用語の説明である。それぞれに該当する用語の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

A: An organization whose function is to commission, create, collect, validate, host and distribute information online and/or in printed form

B: A publisher or other online information provider who delivers its own licensed content to the customer and with whom the customer has a contractual relationship

C: A type of vendor that hosts content from multiple publishers, delivers content direct to customers and is paid for this service by customers

- 1 . A=Aggregator B=Vendor C=Provider
- 2 . A=Vendor B=Distributor C=Provider
- 3 . A=Publisher B=Vendor C=Aggregator
- 4 . A=Provider B=Distributor C=Aggregator
- 5 . A=Vendor B=Aggregator C=Distributor